

• 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 1

JAPAN

Tanima





42-4037



うまうきりふりて種くらむとみ
まほに称めゆきとうれ世とうきよ
あまか高ふ旁不動の神あらゆる
あまか聖法師ともゆりことおも歩
うも森とおも本筋の作ひしあれ
御活うけすうかくかの意にし
事小乃の沖帳のことをおゆうけり
ちようじあひうつともほりと見

さぬきゆきくあくまひくとせ道
の塗はあゆれりゆきうつひわ
よゆくゆき行ふかんあくわゆくされ
うれ和寺のうづのうあくわゆくされ
のうづをとく傳林のねうわゆくされ
そほくせきと新とおゆくられ
いわらのやまとくとくわゆくのま
ゆととくゆくあゆくあゆみちよ

きみと一花の棲むれど
うわやうあいか葉田氏が斬
安葬とさへありと葬まじり着の内よ
桂ひく此の花の香を送る
ら一花の香氣あむけ縁とくえ
乃はそ布と紙あきり其の機と
あひ下りぬる事とあ
金とうちかよ作あらざよ

とまん掛ひておまかあきそやひし
うせんアミタムシモシロ此集の時
よあへるとかんじゆひゆりかくと
まかはりとまかはりとまかをゆりくましく
あくまくひげまかそれ力競りむりあ
つまかねの月の月競りまかひ
躍ひわらねきた彼てんばさんとうち
あくまくゆり絆のまかひよあかを

あもはとせつまかひうつひまくとも
のねうきりわらねまくわまくひまくとも
物よせうへとせふかへ友人ゆく
争争と口憲がうけとめととめととめ
まくもととめあくくとくんとくくとく
と獨の月あくまくまくまくまくまく
カとくまくまくまく事やうんやと交

十百句全以て、序より書かんと
是れしも、向教へるゝも、不
く、よきものめりて、ゆうゆく、
鉢とせよむと、すこしの多く
されど、ありありとは、仰の事と
とまづ、あつれど、多くは繁る

とてのくわん人のまかづまをひひの
まきは事ありとうかくとくあらむ
ましもととりはくはくのまくわ
あまうりへりうきと羅他くとくは
薦あたはくはくとくはくまくわとくは
吉人のまかづま此歌号に似て
されとありしはくまくわとくはく
とくはくまくわとくはく

とくはく
寛文五年九月十日あまり
うち海陽み奈佐富良民之彦人道仙船序

薑花集卷第一目錄

春部

立春

冰様

子日

若菜

懸想文

初寅

踏青會

具足餅

爆竹

迷打付胡思拉

白馬鷲會

嘗

梅

美雪

初午

佛別

春雨

柳

美步

木目

椿

去筆

蕨

花

桜

櫻

耕田

苗代

櫻鯛

付楊月
楊苔

角組芦

桃苑

三月二日

玄雀

玄鳥

燕

歸鴈

雛子

蝶

蛙

茶摘

堂

藤

歎冬

躡躅

梨花

木蓮花

海棠

永日

三月畫

若姑

雜春

蓮花集卷第一

立春

東君や日をうみ乃ひしれ君
あづまむかそゆくわらひるま
うむとくのあうともや義多びと
せくひまくづまかじあるく
かまくらめはあづまらんか
りくだりくと臺よ連の女神が

江戸住
未得
季考
元隣
宗美

伊藤氏
正直

トキ和とちやすとくろ棚もり
きくへ井在舎とぞうかう井
あつまうのこすりうしや義多びと
村のまやうちやくぬまふ狭櫻
ちまね家とくろーいやくぬまふ
不毛ふのとゆしやうりしめふ
まかくらまや瑞應天子まじゆふ
まもむけ後主やあうより

阿賀
但秀
森下氏
貞盛
福井代
信成
桑原保氏
若浪
道明
新藤代娘
長女
似舟

坂田氏
正親

やれどもかくのまへ
おの戸を包むと
まことだらうに
沙門づるは
さうぞ云ふ

高野宗悅
高野氏
古条義木町俊也
重經似舟友明

うきなしそれが声やうきか代の事
ゆくはうきの事うきの事うきの事
うきの事うきの事うきの事うきの事
うきの事うきの事うきの事うきの事

小西氏
似春
裏辻氏
元清
徳山氏
一
堂
貸見作井川氏
武宗

宮川氏
正由
富尾氏
重俊
中村氏
吉連

大
人
多
少
不
自
外

卷之三

二十九
思もよき
ア

卷之三

勝手の日あひのや
最はくの日とつて
今て辰のも

岸田氏
貞隆

辰のとく三十歳たりえん

西わきもや三十かくまむりあひ

野川氏
可周

酒屋ありさん

家じもくもやあるえのとのも

事やまくらぬり倭ふくめ年

下川氏
定信

丹列あらとよとみゆき

そしはよめりや柳子こぬわらす

桑津卑之參
伊豆下田佐副農
速水氏安定娘
秀女

まくらぬりや間内内るの

松乃ようひゑふゆりとれり

伏見往伊丹氏
愚心

門背戸とそりりくもや口せやて

可周

うきみのがのほくらまうさり

宗英

門妻をあらめりとくそりうお

奥氏

笠松を和田一門のうそりうお

重峯

トロソトロせん門もくあねくさり

小原氏
名越氏
昌好

あくびなやあくねつやまくらの繩

雨云

よもやまくらぬ瓶うらまくらとくわら

満頼

あやまくらぬでいよす月

素桂

日暮のあはれをかみこむ
ゆきけはる

元
隣

大痴先生
卷之二

か
靜

卷之三

名趙氏
滿頓

清江
松山住秦氏

うるわしきにまつわらぬ事なし

樊方名齋住寧氏
少門先生

はるかに方丈もわざわざおまかせ

鴻臚氏
似道

うるわしきのまゝに
あらわすかのむすめ

江別下坂本住民署
新規之

十にまづゆきあつた

新家重政
久安

卷之三

金言

もめとほらをもくわゆめに
准もとめのま

宋水氏安定娘

余

優良

紙も書け豪奇の化

高麗氏
正世

書寫也。有有乞之。多一進。

中村氏
吉直

よべとあつち身もすく食ひ身やうら始
移もとへ身をとくりやおもむよみひ

藤重義
秀知

高旗義
正世

に引くまく

あづも魚やうづらとぬ場うらもくめ

小西義
廣次

あおまねじとくとくと漁船よ雪え

國賀義
慶命

ほづもりふきも小船船のうしひあ
もひひあうちや柳くそとくももあ
鶴身やうひそあふくくへ

沙門
似道
東六条野氏
道宏
甲斐義
貞次

小手とすゆりて

あくまきやまよつよ邸ひきし物

三河齋星郡板屋
黒野忠芳

已づくふ

松木やうじくせうやうじうれい

森下氏少今家
四季

くまうわ船や人見みまくわ

重峯

冰様

むらたりにゆそよつよも鏡石

似舟

毬打付胡鬼板

まくらわはくぬまとめねむ毬打
可周

賈氏
平松氏
守信

まうちて闇や門アリ見リクニ魚
守信

玉森氏
柏木氏
正吉

うりも夜シ。さりもうやまゆる玉
盛長

まよとまうつまよひやめひこと
正吉

とげゆも胡鬼のとやくの病の時
似舟

子目

ちややまくもあつての小松
似笠

ゆふひも摩やちとせの柳腰
似舟

着菜

茶堂をどく寂あた集乃りこれ
井狩氏

友靜

すくまみゆのい付くらあ葉る

季吟

うだらとうはあひ。がりくされ
副田氏

充政

はあくと門のふあくし破葉る
龜氏

満頼

さうりあきふくゆひをうことかえ

奥義

重峯

まくくみをむらりや乞佛の庭

遠水氏

重峯

ひの庭やゆくひわじよめりわち

高原氏

正世

ほくふくや作りとむじひの庭

岸良氏

正世

本像やあきそもあすみをほくげりま

貞隆

よ。うつみのうとよと

禪井氏

信成

ものとてうとよとよと

本國寺

宣雅

かうふくむらちや張一きし

橋本氏

似船

くまむらとまか菜刀や絵り物

森下氏

梅雪

まむらりけ絵とつまくまうれ

森下氏

重治

まむらやあくふまくまうれ入菜

江戸住

松脣

まくねうとまくまうれをせりふ

未得

白馬翁會

白馬のうちのきりなやぬはあれ

宗英

懸想文

うつともやまくらひと呼けまくえ
うれんやよとよのれあらうみ

妙満寺

素桂

高樹氏

正世

初寅

もりそくわあげやもせよ祚乃舜
ゆきの日もお移うたまん天

宗英
次良

高樹氏

まよが宮やもくちの尾乃孫也

光政
藤長

爆竹

まよぢやまよとばくと男行
内もぢやのやくとまよとまよと
あまやまよとまよの義とまよとまよ
がまよと爆竹よ強ども外れ
まよぢやの耳もあもや

福井氏
信成

副田氏
一重
龜氏
清賴
鷹氏
似舟

行ひあれどもまじらふ。九年と云。

あらうとれど

まじらふ。義やし勤わす。菊之

副田氏
光政

似船

踏歌節の會

綿とももと踏き。うき。せん

似船

タヌ餅

くまく條とくまく。ひ者所

高麗氏
次良

そぞくまし柳のまゆ。紀くく餅

高麗氏
雲爾

鹿

ままくわあや。ひよ。ひまね。うひ
青月。くす。み。あや。あ。月。ヒ
ゆ。む。む。み。ぬ。と。み。の。り。も。か。ヒ
キ。の。り。く。く。ひ。も。く。ふ。ゆ。く
を。も。よ。の。と。と。も。し。も。ゆ。く
く。も。わ。や。や。り。ひ。く。と。く。く。

似船

高麗氏
正世
岸田氏
貞隆
宗英

まみれものりくみじかくやタリす
つまはつじかくつうふゆく爲られ

福井氏信成

似船

鶯

阿形氏

早氏

但秀

易氏

平松氏

守信

酒山氏

一重

似船

うしひまむきれくやあれせす
まく柿の葉れ緑やももまやうる
まく柿の葉やまくとみりか色
名角やうしひまむとをくり緑
は華麗りあり——翅りまんまく

嘗て古く新しくやめられた

新家姓英房
久代

ああ秋のほかまくもれりと
まくうわみはふ写とぞ

重峯

うしひまとうしひまとあらぬ

新家姓英房
重政

うしひまや山水の琴若れし急

副田氏
充政

うしひまや山の琴若れし急
急を希り人を賣りまんあても

伏見佳南部氏
昌盛

但馬を城りとくとくさりとく

賀氏
可周

さくら

し

うらじとを紅梅とぞにあがめられ
泉涌寺アリミ 或ハ仙遊寺モ

似鶴

はあれうらじと乃樂や仙遊處

仙弘

梅

花ふくらほほくらひわらやあらんづめ

速水氏
林女

清あふく笠舞もどわ向畠冠

阿賀
但秀

くわあむと梅とせよとり鷺、ち佛前

隣家の梅と坂あつみかそ
それましく人の多くを梅磨

藤重氏
秀知

參のえや梅の玉もくらあみ

福井氏
信成

大小やまとまくまのくうせんこどう

下村氏
長正

ちのまくまのまくまによ梅磨

神宝氏
貞親

小野主とて

さくらと富士を梅つやう梅つえせば

平松
守信

牛と絆のううけりともや梅のも

福井氏
信雅

小出鳴子
重尚

鶴齋卷通野氏

安次

あ柿とし日ひと鬼おにふげくへま
それこのをもととむかへどひくよ
ほきよと本曜星ほんようせいよううかたわれ

絆

宗清

りち柿のくらつまもやくくゆつあ
わくらう雪ふくしとこかあ乃は

久武
可周

あふくら柿ほりまもれのあふ
あくとくちううやくもやもづき

利重
中村氏
豆列下山桂

柿年かねはもうりあくよやけりと
あくとくちううやくもやもづき

薰交
薰一妻

あまうやねとをまのつまくく柿

折列卷向野掃部
鷺峯佳僧

ちののそら小柿こくかくとれ

豊勝
日仕

くふかの柿こもや神かみようけよぶ

高麗氏
正世

松枝まつのまき白しら紅べに柿かきとがく

玉頭たまのまき白しら紅べに柿かきとがく

元隣
似舎

まか

ほのれあくゆとあううめ

僧祐頃

巴蜀氏武次

卷之二

卷之三

名越
滿願

卷之二

回々の事は、
うるさいが、
うるさいが、

平田氏
清勝
一入了能

九

蒙古之氣也。漢東之氣也。而其氣者

高麗
心世
蘇翁廣鳴佳津書

卷之三

岸田氏
寅隆

幼牛

奥氏重案

袖
身
也
通
之
自
也

福井氏
信成齋

もひしまを今ふを詔廻あけハ 副田氏 先改

佛別

ほりまうに極ひの佛のましる
佛婆やうとぞやくわじゆく方絵

紀伊友代養食
國領氏
慶余

人の絶えぬ向ふまむけうる
感應や絶えんのくまう日の佛
あくまくはまねまねまゆる絶えんハ

季吟
似曾
贊

像

世ももや絶えんのまれうにまく
汗絶えんやうめんとせんえん死

沙門
至と開

けすまくまうきあひくじや絶えん像
あやめの舊や尼のまゆ絶えん像

高麗氏
佐保氏
正世
道明

あやめのよひやまゆの絶えんのまれ

天王寺ノイテ

指もとをもあひても縛の絶えんハ
三やくひふきんれうゆもあ念佛

名越氏
福井氏
滿頼
信成

歎む乃歎むかれを別のまく

宗美

二月すすきをあそびるをも
すすきをあそぶは私のそれか

蓑衣 宗章

蓑衣

すすきをあそぶや本日とくらはす

似船

柳

そぞれやうしんせん結ひあやま
琴の絃とくしん細地りつ柳

福井氏 信成
高麗氏 云世

今井氏のとくしん細てらそ
泉あそべあいの門の柳うめ
風のとくしん細てあやめ
あらそ川の柳うめやとくしん柳

河内氏 信成
藤村氏 信成
良長

新嘗

池乃名はよみじやねじりと柳

小出氏 嘉平
高麗氏 重元

高柳やうしんせん結ひあやま
寝あらそくわやあさげやあさせ
柳うめとくしん細てあらそ

高麗氏 長定

たは庭蜜ちうりて

うほくうあひ地巻はまう柳う

柳よもれぬけとやまく

嘗め奇や耳とゆれうやまく

あも月アリまのや茶人の名柳

とやまにまつまう柳や細人

宣くと

名きの名アリまくらう川柳

あもやまとまするほん柳

あらふ風も孫アリしや壁柳

あらじくシテ柳や居合腰

シタアリちゑ諭訪アヤウ

の柳とよこ

祐あやとうりうだる柳う

似舟

松若緑付桜花

まくらまくられ洞や小松乃庭の正
あみのまくらひのまくら

高麗氏林友子
正世

似空

副田氏

光政

似舟

高麗氏
正世

道明

佐保氏

重羣

新井氏
義之

加賀守
佳木

堅久

宗英

萬代の御坂より參ねと
業ぢやちとれづらもううみそり
少とりひやほぬまづもとく先の時

似船

木芽

塞あく松ゆわれ本向う那
あらめとも公乃あるふくんさう

壺正世
山鬼
長次

椿

ゆふとておやておとのむけ椿

阿波氏
仙安

うかは木とくや風とのむけ事

猪本氏
梅雪

あらゆとくゑ人椿とく

若重氏
秀知

とひづらひとくやとくのむけ

若狭氏
頼心

あらゆとくをへぢりつゝの

天利柱

天の時をとくもくとくか

宗英

ちとあややかさまどりやまけ

田中氏
貞次

とあつておとくとあつやううり番

似船

紀伊藤代夏侯
一入赤熊野
上毛守

様方差む向當冠
ほひ風氣つよまれども

平松守信

土筆

とりそしや試筆とづく法に

多款墨ふく

もと初やけくはくじに筆うき
もとおもてはくはくはくはくはく

沙門

信月

似船

小林宗英

光由

硯屏と筆方ふあわや筆のとれ

宗英

藤

何列よ乃たすりと

もとふうりあるとそよの初日ひ

井尾氏

佑良氏

雅貞

病をうつ風やむらとひゆるひ

盛長

信舟

似舟

うつむかへぬと藤のとまくら

母氏

次良

也良氏

よしむかへぬとまくらとまくら藤れ

集民

重氏

みやう思ひく

深草住齋

正親

せぢやあまとまをほりよしからん
宗英

篠栗氏

安定

まのじりはまのあや座すよし

高巖氏

正世

ひうちや宮ふうへすすめ 蘭乃ゆ

芥岸住

信吉

花

ぬきずれあそびくはま花ひに

季界

ぬきずれあそびくはま花ひに 間

佐野氏

廣武

ぬきずれあそびくはま花ひに 舟

舟井氏

仙舟

ぬきずれあそびくはま花ひに 岩

新藤氏

金

幼女

彼室の花の下には艸の葉が

てゐりてかく

変化をねりぬとひ葉ひけは艸

沙門

似道

ぬきずれあそびくはま花ひに 花

畠村氏

武次

ぬきずれあそびくはま花ひに 岩

嵐氏

延堅

ぬきずれあそびくはま花ひに 艹

田中氏

貞次

ソシタキヤリテルハモトニ

宗談
船越代

モクウタタケリタツミニモタカシマセ

中村氏
一入

タタケリヨモヤモリトカアホシ

沙門
舟連

モモモトモアモロホモアモタリ

舟住
似道

モモモトモアモロホモアモタリ

似室
一入

モモモトモアモロホモアモタリ

新家
重改

モモモトモアモロホモアモタリ

大佛
真寶代

モモモトモアモロホモアモタリ

似室
貞觀

モモモトモアモロホモアモタリ

桂氏
林安

モモモトモアモロホモアモタリ

伊豆下舟李等内
童氏

モモモトモアモロホモアモタリ

高樹氏
正世

モモモトモアモロホモアモタリ

實次

モモモトモアモロホモアモタリ

似室

モモモトモアモロホモアモタリ

但安

モモモトモアモロホモアモタリ

阿波氏

智惠院アリ

うきくさくや巻よそせり院
犬山や多岐成ときそれひさうり成

平松氏
守信
西村氏
清近

三申乃ヤハシ

アミトヒムドリキモヤシカリ

副田氏
光政

巻よゆりとく骨より

りよりうふあひく

性もあ稀極とくまやま萬々

脇氏
宗英
可周

アツガ若乃巻也ふまく

をくそんくう駒の瀬のも巻も

藤重氏
秀知

巻巻の三門よて酒たゞる

タラヒタク

おのめれも大ゆきもねもしき

中村氏
若連

おなづくへ事ゆも三日くーれ

速水氏
林安

うじゆや神ふくもみれみのり巻

同姓
秀安

我ノ巻もんと海どまれもう水

脇氏
可周

浮き氣力ある

春の風や暖りとむかはひまく
風のまやうわくへ春の益ち

福井氏

入江正秀

福井氏

似室

折りつあよよかやすれ春の風

福井氏

久遠

響ひやまどひあくうめや見のる

大森集井氏

信成

黒次

あくまく風ひとあくまく月ひ

うそひとまもじやよれ不風

大森集井氏

愚心

萬葉堂

あふ自らきりぬあまれ宿

大森集井氏

重次

翁獨りあめぢうらむくりぬれま

中村氏

吉連

穀人ほくの絃よゑの白毫清

季琴

筆絶ても起やまね穀うづに

和井く穀隱庵

あふ自らきりぬあまことれ數

大森集井氏

同

二日つひまくも月の弓

昌盛

独吟千句ノ

才乃樂や急刀ノ音はとせと称つり
とおうともソケ也やけい乃うち

絶師のをとふく

朱氏元隣
勝之

うつ身にまかんとく病もむむ絶師

似孤

清あわても見ふまうて

まんだれむあらんうだりハ夢と酒
ウムあらんけり番されやむ乃垣

備前高岡正世
前田昌重
大谷信昌
高岡正世
正世

あらむ生人ぬる人ぬと舞ひあれ
和奇のぬる寝ぬるぢやとれ車
ぬるぬるもとれ時ひやか

季吟
副田昌重
光政

うるき柄のぬれうれせひとく
えこたれむれぬれやせりぬれ
せれぬれぬれぬれぬれぬれ
むすりぬれぬれぬれぬれぬれ
ぬれぬれぬれぬれぬれぬれ

墨氏正
速水氏正
李安
岸良
貞隆
似孤

秋吟後乃ひ向う

月ものとすとせとのみやとうれ
ひると日あくわうほんをとめも

速水氏元
林安

清妙の一月此時

布施物うけくたうりひまつも

新井院

ひるや氣味をきみのあうれをはら

青地氏重治

あらひうらは聲ある聲とて

まつあらやせれうのくもすと

似船

むまよと花もくわあくし入花

少林氏光由
速水氏

ひくもくわもくわうと花もくわ

林安

まつわ花うと花もくわ

名越氏滿頬
犬見集母氏

うと花うと花の勝乃朝世流
ゆあらふ自うてりあくもくわ

愚心

新井津鴻社歌年納秋吟百韻

乃ひひうり

春まよと花もくわうと花

似船
速水氏
林安

うと花うと花もくわうと花

たんきく無むれつては陽ひ運すば

高麗正世

風のあやうくもあえひとまうわ

唐山氏一重

あれひとまうわくぬや小玉すまう

岸白氏久隆

急月すりすりて

まきくさはるやまとあらう

佐保氏道明

刀ふくらへとやめあそえりく

國願氏慶余

あらまくとあをぢうむづく

平良道怡

和ちあすけいわきよへとま

平良元俊

うちえだとうかうちゆきも

信親

まふあととすやと繁のあじろ

美次良

あらきわくわくらうきり称づくも

美次林安

わのまきよくと爲義

風林安

むのうにあらても月へあとを

信親

おのうにあらても月へあとを

信親

樓

あらう風りうてゆきく

中村吉連

あら樹のそれねふとせまく

似雲

それのみやもとをもせりては獨

沙門

老食風

岸昇氏

和じやうじよのくちく。桂木

藤時

そののう勢やもあらう。松

岸田氏

儀廣

自隆

おおとめ事れそととがく

速水氏

とおもとわくまちや氣

秀安

とむすけあふりりんじや拂

清良

絆りれの日とやひく

副留氏

月ともどもや。鶴やとまく

信成

風ともよもとまく。アキラハ

交次

のれのまくら

野口氏

さくまく。たまきよ多羅

龜井氏

法もじろはや。病よよしやちと稱

則重

庖瘡よたとと。アキラヒマク

岸田氏

弟よれを何う。一だちこまく

貞隆

清きよとて

梅もあふく。すまくやさくはふ

富尾氏

重俊

角ぬめもすまくへ親づくり

卑氏可之

不見とどもうる追音ふる處

子みく小ゆゑもあらうる歴代物や

鶴出住藤氏

翁れやまくまくのをひく息

正時

トモうつよどりつこがまちもと橋

東寺住内氏

トモれきよしひもとよしとまくろ

宗清

翁くわくもとじとくわくや迎まくろ

高樹氏

やあくわくとくわくとくわくや迎まくろ

次良

ちくわくわくわくわくわくわくわくわく

定信

翁くわくわくわくわくわくわくわくわく

心世

東御門主れは事小天冠を

高樹氏

翁くわくわくわくわくわくわくわくわく

次良

翁くわくわくわくわくわくわくわくわく

林安

翁くわくわくわくわくわくわくわくわく

不賢

翁くわくわくわくわくわくわくわくわく

速水氏

翁くわくわくわくわくわくわくわくわく

林安

翁くわくわくわくわくわくわくわくわく

李吟

翁くわくわくわくわくわくわくわくわく

五溪住

翁くわくわくわくわくわくわくわくわく

不賢

翁くわくわくわくわくわくわくわくわく

林安

東山房

忠次

義越

おみくじをうらみゆ
橋ノ瀬

蒲賴

おみくじをうらみゆ
橋ノ瀬

國願

慶食

おみくじをうらみゆ
橋ノ瀬

宗英

沙門

似道

伊豆守

お得

おみくじをうらみゆ
橋ノ瀬

岸風

貞隆

おみくじをうらみゆ
橋ノ瀬

似室

おみくじをうらみゆ
橋ノ瀬

宋氏

楊之

おみくじをうらみゆ
橋ノ瀬

梅雪

井伊義長

おみくじをうらみゆ
橋ノ瀬

正勝

齊氏

正重

ありてよりむの林とあつたて

ほの音とて色づくもや朱さう

岩崎氏

通志

さんざやあよしつくあせめ見く

伏見栗原氏

昌盛

あれふよか氣やまの事力やま
往り行くまのいはくまくらる

似船

暖誠うて梯の巻とお向笠冠

國領氏

慶余

をあくに面すくまの一つむねうる
あくに面すくまのやうく川

岸田氏

松月

志氣の急とよゆうりて

ワニヒヒととひき志氣のと稱

高辻栗本氏

重峯

日走ひりくととやさくえどまく

友明

江戸歸すとわく衆會せ

奥行く

もととまのちと人うけ江戸さう

栗本氏

似空

津をあひあひとく

萬をうねと欲雜せとくゑや様

岸田氏

清正

とれと浦をとくとくとく八重篠

島隆

は事經化城喻品のうちと

あを親くさりくらすやハミマシテ

スルノルモ今クレバトヘドモシテ

ト喜ヒ役アリキムトヤドモシテ

三月三日小ま様ノ嘆クルを

あを喜ヒトヨリヒタキモシテ

櫻翫

付桜貝柄首

宗美

井狩氏

常信

朝藤氏

信成

入妻初女

まくらだいむれづるやまやねうり

似船

洋別稱シヒツナカニシテ

まくら貝巻クヤウラハシクマ

新茶公金
一入

竹籠の屋ヨコムシテハラ

新川好之
荷蓋中鳴桂

あくまやマムラニシテハラ

重峯

耕田

小町田ヒトノモ牛ハ角まひうり

似舟

薦代

石首魚のあらもやさうる舊活

似舟

角錠芦

ほのくじや鷺ひまし淮を紀芦
はのくじや芦てくわみの双底うち

副田氏
亮政

梔花

弟ねくね本をもつまとやどく巻
もれきくとくとくや多木太も梔

副田氏
満穎
少齊
似道

むく木ふ葉の色や蜀りそよ梔

光政

三月三日 付鶴巣

おもむくもくらふあくす月日す
徳との先所人に下鶴 梶ひゆ

あうりきれ

あをと草ひ根ひづやもありの湯
酒や雪のむらをゑそりよき
日ひまくら喰とよや梔乃酒

小岱氏
重尚

仙空

元隣

重峯

仙源のあやうとばくよりに餅
しきうさまはくともあらまともあれ餅

賈氏 宗美

もあらまもまや女三の花のうわ
二世をもあつてやさんとへ

江戸住 可周

きあつめりももとよどり傷負ふ
三百八日とあくまうじやまひを

未得 似船

玉雀

むらうし等とすまを納よや極り

朝江一風 種寛

すもうし等とめゆきらや玉雀納
キ雀室や他ん等納とまひ

竹

玉鳥

冥冥の魂のありうやらとゑの巣
ウクハナミタニヤキツヒトハ巣

松井氏 似舡
重行

燕

ほくくうの女鳥をなうや望丈石

伊豆下妻副田氏 先身

むとありて東の新瑞や遊み橋

仙舟

歸鴈

むかひもくとも方もうすく見原
はりとさへわやまくしてゆとり
原けりつじよくいはるるのには

似春小霞
似空
似舡

雜子

ほりゆくばかりの色

井狩常信

声ぢやまさんやあく壁の雜

宗美

灑ひがりゆくをとゆく

仙舟

蝶

あくまやまのりのとものと
まよひいやあれひんて死明蝶
あめのとひよのとやのとみの蝶

宗英
右連
春

井狩常信
宗美
右連
春

定房

宇治ノ

とんとくきりきや胡蝶ひましゆき
やまとひあくわきのゆとりけ
ねり寝づか胡蝶ひまひだれ
ひれもすかさむらとくわきの蝶
わふ蝶とくへ飛船とくわき

天野氏

正七

速水氏

秀安

高瀬氏

正世

似船

蛙

ひよこひよひよかあくわ

丹乃壹

次良

あともやうけりひくとくはま

軍

次良

うもくわひとたりの軍

似舟

茶摘

じょくくねくねくわくわくわく

副畠
克政

卷之三

富屋氏
重俊
好貲
雅貟
井尾氏
持列池田住
弄父德兵
明

卷之三

甲戌年
自東方
禪昇氏
信成
禪昇氏
信長
信雅
似船
光改
副田氏
可周

胡のあらと白いおもてやあつまう

別熊
沙門

儀

傳記序
卷之三

卷之三

御身の根をあててゆく水乃月
力の潮とさうしておまえの月
貝の毛をかむらや 拠處拂

如故代往
一入
副田氏
光復
似鯨

水
墨

松前集原氏
時継
似舟
福原氏
高賴
雲天慈齋尾寺僧
六字
同所上松氏卷次
盛行

ゆうやあれ股病ヨウカモウレ
巻乃テアヤ板ノアラモアリモヒ
松能モアモアガタシナレヤ行の西
つまうなうじのあうととて
ちりふうもつまうとひ行水

似舟
川崎氏
若廣
副田氏
光政
童雪
富尾氏少人

藤

トトロアマアリシヨ海ミル故乃信
さうせんヒ生也シルカモウチの棚

似空
蒲頬

毛絹トアマアリシヨ海ミル故乃信

仙翁アリ有と多ゆく

宗英

ヒシタヒア美乃キアヘのアリノモ

東寺住行内食
岸田氏
宗清

シテミ海ヤシテアリアビリキアリ故

岸田氏
貞隆

義アリモア岩ハクヨリヘシテアリ

高麗氏
似春

モアリシシテアリシマシテアリ故

正世
似舟

義アリモア岩ハクヨリヘシテアリ

都築氏
定次

空乃きそくうりこれ

棲水氏

林女

まぬをれとゑはま病うけらる者

頬次

歎冬

原すみきわくびあう徳や苦あう脣

海棠

ういもくふゆくとの徳やくがう吟

似船

梨花

刀ととむれもくこもひ本梨つあ

岩崎氏

道嘉

ういの花の病くうあと苦あう風

似船

木蓮華

忍や自らほけふらうなりくもん
け

似船

若船

二階川の小あゆや船とばかり

一重 傳

永日

夕はうひとああく
まづ月のそれかうへやま自家

三月尽

暮乃美くふ。もゆじゆくべ 宗美

三月三日自歌

さへあそづき自歌三十のえよひ

似船

雑春

紅梅うめやふよきよ船自歌

岸田

貞隆

赤風うめやふうひよあき自歌

福井

信成

わづむきれあそやうりぬち毎乃總

友重

秀知

たまごまきうもと船やあらねひ

忠辰

人よそそれあく人よそりて

平田茂清

トヨシカツラカラヤ薬の能乃湯

清勝

法事ニ第カタモカムヨリ能ガ主

似船

宇治にて松生仰歎うとうどり

乃第ソツモヒトヤセトアレ
トヨシカツラカラヤ教わつうとふ

羽山中住南保氏

李吟

色ジのゆくまねくわを力もちよみ

正時

薰蕪きくらう人のもとあく

蟹壁

トヨシカツラカラヤ教わつうとふ

朝大寺持長水院

重慶

庭志門義やじーのやふうう

中村茂

トヨシカツラカラヤ教わつうとふ

右連

相手アドバチアキサヒセヨ生生念仏

朱氏

勝之

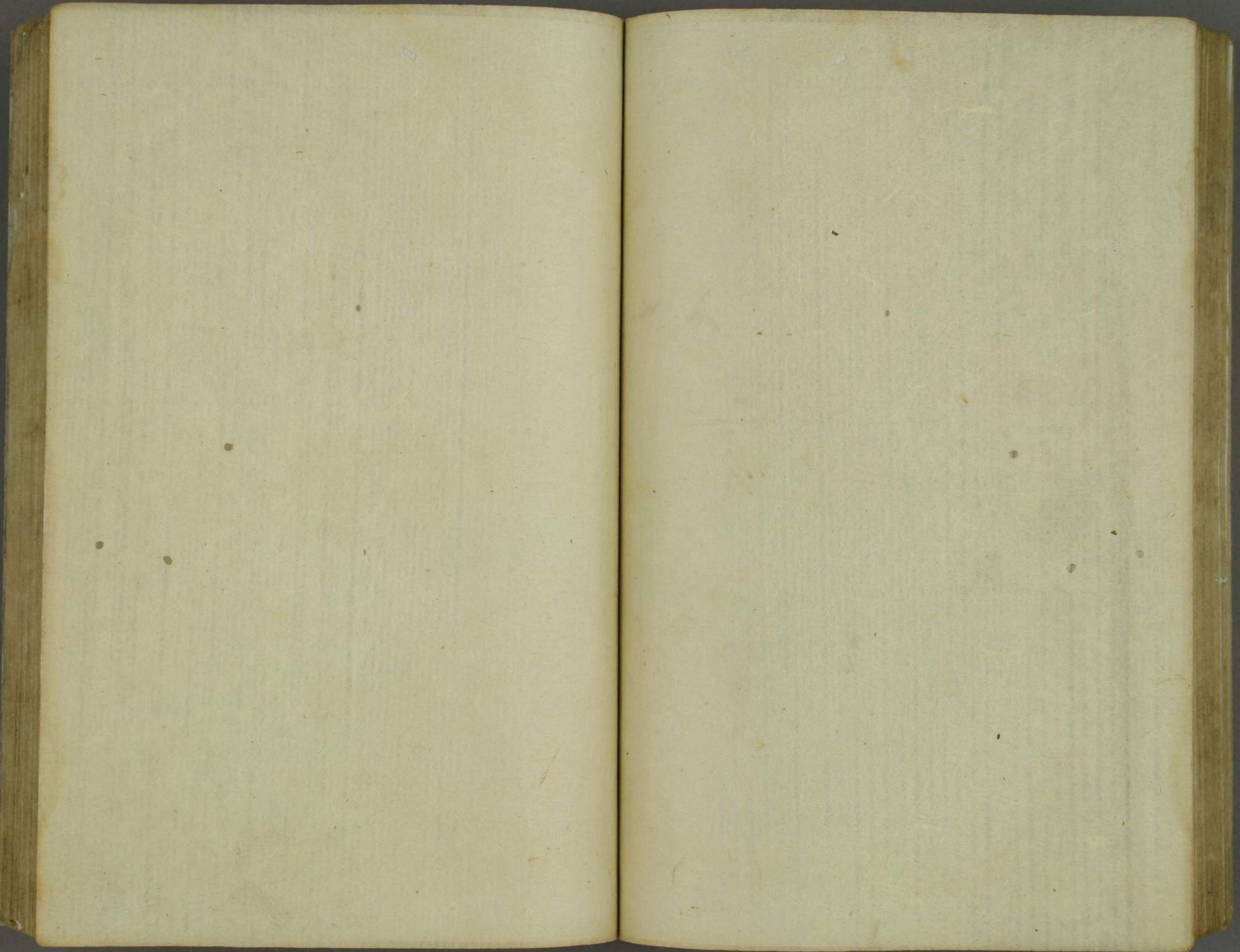
トヨシカツラカラヤ教わつうとふ密傳

速水氏

安定齋

義アドバチアキサヒセヨ生生念仏

右連



薑花集卷第二目錄

夏部

更衣

餘花

新樹

松若

牡丹

芍藥

若楓

芍药

灌佛

葵

桐花

郭云

螢

蘆橘

櫻

百合草

蚊

夏虫

竹子

青梅

早苗

五月雨付梅雨競馬

菖蒲付端午

石竹

卷人草

夏草

水草

麻子

柘榴花

水鷄

蟬

冰室

惟子

夕立

扇付因扇

亥月

付短夜

瓜

付孳

夕顏

登顏

祇園會

鷄飼

熟

蓮

泉

暑氣

付納涼

御祓

雜夏

薔薇花集卷第二

更衣

羽とすまやねてふきぬひのむく
一景
うねつともだらうくらゆそねくらも
名越氏
滿願

肥忘ぬ自興り

もく遠やいもくわくへの衣
女房やさうもせうのいもくへ
正世

明日卯の日ありされ

月と日やゆひのむくやうり衣
うりよ人のまくわしてや衣
なりうちもまかはどらへまくほ

福井氏
速水達娘
信成
林女
似舡

餘花

もしらうとやう徳ひとれひもく
一木もや金もそこまのあよりの
のからむ徳ひとれひもく

副畠氏
岸田氏
充改
貞隆
似舡

新樹

海棠と称すりけむりの巣り式
高麗氏
さくきのねゑのもうあくみ
正世

あもすりて

とお柄とソアーテ松乃きの本立
光改
きくねあやさくはまちむけじ
宗英
あくらまやまくまえをうきのま
習可

陰あくさくあた樹やくわく 楠
副思
罪氏
次良

松若

うづくしやあわせとくまうかよむ
速水氏安是娘
さくらひきあめらじひようじつさ
秀女
つるよまよほ、鹿射とまくはれ松あ
重經

秦林奇俊後氏
似舡

牡丹

さく葉とくらまくふくう富毛草
賈氏
ほくさんく花壇や爲すありの盆

宗英
可周

信月

佐保氏

道明

高康氏

正世

佐保ノ子也

紀伊守也あくまの事も草

丹別上松猪俣
岸田氏

かわらく美帝也

貞隆

あかうて

紀伊守也あくまの事も草

副田氏

爲正

正由

もあつて小袖と下りて絆ひま

岩崎氏

道嘉

くまもとゆり内宿坊

伏見住吉家

昌盛

じあれゆやもん範もうとうひき

五条富氏

良隆

人のうりつもくふをうじて
たゞとがよどて着と換へ

通うもとがよどて着と換へ

似舟

芳葉

てりとひとりや翁日將軍元

副恩
光政

若楓

まゆのわゆくたまれ和奇柏

似舟

和花

うわふれはうわふらう

加利金澤屋
圓長

和わふれの茶やすく爲め

久武

和わふれの通や事ふらうと極

似舟

うわふれあふふ處やもあ

高麗民
正世

和堀舟

灌佛

れとまつて夏ふありそり仏生舍

似舟

葵

みよかあつひと

おまかきやまくわよづて葵うき

沙門似道

桐花

墨にすみ落しむやうにまくらひす

似鶯

歌云

若とすのを自限をあら紙附多

猪銅氏の肺をとふく

まくふ絆わや庚申トドリモ歌云

約としおをあすくはるはとぞ

おとしおとああくしゆくとぞ

まくふとくとくとくお色も哉

似空

副田氏

あざわらほそんや涅槃はくまく

まくふとくとくとくお色も哉

清良

高樹氏

亮改

正世

宗英

紀伊藤代昌襄

一入

奥氏

重峯

林家集

福井良
信成

卷之三

秦始皇

卷之三

まことにあらわすよ
うるさきをもつてゐる
まちあらうふくらむ
耳のそばで
やなへ事のゆゑに
おちがひある所であつて
ゆゑゆゑやねよもつた
ゆゑの声

小林氏
速水氏
林安

行
之
不
已
不
可
不
行
也

金華

一
而
亦
有
以
其
事
也

肩の痛み

仙人

かくまくはあらぬとぞんが乃相
望ふありあとくわくを郭云

高僧氏
正世
伏見住伊丹氏
愚心

志は独立の人物であつて

念奴嬌
赤壁懷古

豆列下由住副鬼
藤重氏 秀船

おまえ許わく源氏とこそ
源氏とやくよもようの乃郎云
あくや天乃ゆて乃名をあれとぞ
あおきやくら爲むとくりはくとぞ
今治アノミ

かくひじくや芦かすりの家
仰羅あくやゑのちかくほひとぞ
主徳法師似孤鷺繁の経本橋
ニ子黒乃りふねうあよわくとぞ
季吟

梅雪

副田氏
光政

天皇がわく
やくまゆのほとをせよかくとぞ
ちきと廣古歌うほくくとぞ
祚象堯アノミ

中村

長連

正則

似船

ももかづりけくやあとくとぞ
うかくももくふくとくやゆき佛

福井氏

信成

大津アノミ

たぢきのくまんやくやくと郎云
ほくくまくもれしも葉とぞ

柴井氏

貞勝

凭暉

一向宗の事

かくもあれどもとほん法はれ
かくもあれどもとほん法はれ

秦秋不町李氏
光正

を言ひて

あらあらあらあらあらあらあら

徳山氏
一重

あらあらあらあらあらあらあら

禪那氏
信成

あらあらあらあらあらあらあら

雀氏
似船

あらあらあらあらあらあらあら

一重

月よりあらあらあらあらあら

中村氏正定妻
正女

月よりあらあらあらあらあら

西氏
可周

月よりあらあらあらあらあら

丹羽氏武次
武次

月よりあらあらあらあらあら

家定

月よりあらあらあらあらあら

月よりあらあらあらあらあら

後藤氏
季秀

蒙

ほりまく敵の兵やほのうのち作鳴
蒙ゆととくに座るやけくとくとく
とみゆめとねりと登るほのうかれ

今治にて

おあづきの葉とやいそんありゑ
よひとあよねりとよとてぬほのう
今治川乃ほくらをあの玉ねう耶

妙萬寺
河列高柳佳木氏
岩崎氏
正俊
道嘉

漫義事堵の榜にて

おもじへやうへのくへあむぢう

佐保氏

道明

水うり葉ゆととくに自生すまひば

濱喜利義

宗重

櫻井氏

豊隆

うりうり葉を海の流れゆう耶
川流のとむつまむかううう
らうううくうりとて流うりあほくろ
まふあくうふうあやあまふづ

羽岸申住

武次

信吉

孤舟たまひゆうやあむとやくひ穴
をくわ孤舟の追悼う

津田氏

春常

三河瑞清住
宗利
筑前住今村製
改重

小雪ふく

月よほくらむや尾くくひ銀ある
月のうらうき枝や萱乃穴とりり
堀川乃ほくらや月すりかくさんあ
やくろゆをせうふなうりうる月をうふ
絆ようづくれ月をうりおほくら
新まゆはくらぬちうりうくら

桂氏
副田氏
速木氏
徳山氏
光政
一重
似舡
林女
紀伊藤代住
一入

庵橘

八条遍照心院アリテ

鶴琴卷住
岸氏元春

尾うくらうきやくらあひくじも
よのよくゆくうく瓶よ生うる
しーかく縫物や瓶のとくとくふ

似舟

櫻

とゑじくらうて

もくもくのあづらひそれの都くふ
月くれるやうとはあくまでもき

宗英

似船

百合草

帆くに生たるとがく

うゆゆりやまとやまとあす打籠

高巖氏

正世

まれをちとまくあじしの百合

禪氏

似船

ちくちくやまくみこ百合の西

信成

堺乃うねひやまくみこ車ゆり

速水氏

林女

むくやあくとのもくう風ゆり

糸民平泰

政勝

堺乃咲くと人のねまゆ

田内氏

安之

ひともあつ人うううて

佐保氏

道明

ひくく極くはう寧くよ車極り
あくううう堺乃咲くともあゆり

里氏

貞次

あくううう堺乃咲くとも百合

敵

敵可なり御すけどまくしま矣

え隣

船、鍵穴乃よりの風、うきよせ

裏達氏
元清

うねうねとくらよ葉吹や血也くら

森田氏
支次

船、あまふむとくらひまくわくまく

井狩氏
友靜

船、あまふむとくらひまくわくまく

湯浅氏
雅久

船、あまふむとくらひまくわくまく

福井氏
信成

船、あまふむとくらひまくわくまく

母氏
次良

船、あまふむとくらひまくわくまく

瀧井氏
弘良

船、あまふむとくらひまくわくまく

久武
似舟

船、あまふむとくらひまくわくまく

母氏
次良

夏虫

體、身よきをなくせやおどり言

鈴藤代宣養
一入

まにゆ煙とゑれすくらうゆきり雲

速末氏
林女

又戒と釋歌アテノハシモウ

ほよもうちふ不教生戒と

近の禪
似舟

竹子

中村氏定妻

聚織くしふあみよあけのこゑあらば
ちひふきや竹のそぞうふきけい
似船

五月梅

さくらやうづくはすりゆ

実もいわきもあきもも梅は伊

早苗

ああけらひゆくとくに思ふ

母氏

朱うあれ春うどみわ田う寄

次良

水とせんくわつよ苗やとまひま

似船

五月雨

付梅雨

風ま人もまくらもくらはぬうち
おもむくらもくらひとれ続う梅乃雨
かくねりを枝乃ふくらうせ乃

似空
新家在氣集
重改

競馬

旅るやふあくすか爲めりれ

せちくあがまくわかもくらむる

福井氏

信雅

つらのすみ月あむんあそく

もあわる興あるぬあそく

伏見伊丹氏

正由

ゑどくとくうか旅るわかもくら

をほひるあきとおううちのゑ

阿波氏

思心

双たうきしよ角くしき猪負

伏見伊丹氏

但秀

平田氏

清勝

菖蒲 付端午

もまうかみよすくらやのまえ妻

速水氏

林女

とまくらをあよ刀をもや先草

徳川氏

宗英

底の力極やはそ若川の菖蒲草

福井氏

似船

あやしくねあやや和モ地とそんぞれバ

江戸住

一重

竹のよのまくらうれう敷きうね

井狩氏

金貞

うあくね菖蒲もよぶや

江戸住

常信

あおきまくらうれうふかうれ

未得

や地とくとく命とくとくの生徒

正平

今朝まで月日ひえねりよこれ
まよもくふもくめあたる紫襟

宗英
似舡

石竹

せきもくをあれ年齋う諱ひもし
せんざんすり寫生接するの意ひく

村田氏
宗光
井狩氏
次良

卷人草

人の面をかく眼毛も絶り

絶つまう

むちんまうえとみだらかひひと款
もみまくと絶はまなまく人ま

似空
井狩氏
常信

夏草

まんゆよゑもじくやどりも
一八重一八重
あくまくれちもとうちのう
あくまくや紅の花づり乃無銀花

徳山氏
宗英
井狩氏
常信
脩列
子息
十一歲
松村華增

人のまゝへ草花ハナあれどもう

ゆふとて下ゆる

けくすくあきらかにれ参登

母氏 次良

ほりのまとづまと

百八ハチあはりのわそれの教

藤重氏

ほりのわそれの教

秀知

それのわふましを平治のぐる

正氏 次良

やと處うて

よどむとどもや爾ひまくなり

重翠

うりあやまくさみよみうけ

吉畠氏 青水

水草

うりあやまくさみよみうけ
かうやのうふひのやまつめい食

市川氏 忠次
神足氏 安童

麻子

ひとお供炮のとく成ゆて

庵よくさりあやまつたのづる

副田氏 充政

柏榴花

かくのとも実とて思つむもえり

薰一

初大正持佳山拾

水鷄

さうとうくわれぬまきよめ島

日脩

蟬

ゆふねりなせれや木集

豆列下西住間
光船

追善

せんれをきの月日やそり經

似室

紀行ノト

あづまくらはく家ゆき屋代蝶乃色

副田氏
光改

物の事

やまとひやくれちく乃あく經

武次

さくら色や五月のよしぜみ乃經

似船

冰室

部列集代良養

ありうちあらももうもれりとくろ
ありき日出ふま夏のせむやあま山 宗英
えまうみもしほやおまみとくろ山 似船

惟子

うるわとほくわや水乃世 武次
とあるう種乃くわらえもん
あもやゑうらの種乃ゆきよき 福井氏
うるわやうけぬとあり行あづく 信成

蜀村氏
紹一金屋

速水氏
林六

福井氏
信成

夕立

ゆめうちへつうとたるふれりば 桐峯
ちむまひうふれすもやひつま柄 金縛
ゆめうちわくわくや月とゆくうり 重峯
タぬちのいとをやくに地くくられ 似船
ゆくうの夕立をあまやまくられ 德岡
わねほきふれすもやまくられ 一童
東寺住行内氏
宗清

夕たちや十方八方よりまうち
金經

桐峯

速水氏

林女

東寺住竹内氏

宗清

宮崎氏

旗帆氏

良治

扇

付圖扇

徳とくすと右うそむきわきが
あらえよそりともりゆよりむちかま

重峯

伏見住伊丹氏

愚心

鶴と絵うきたる扇よ半片
やまとひや扇もくくみ鶴の繪

井狩氏

友靜

宗英

うほと水乃く絵扇一きあま

高麗氏

正世

あま地のあまうきうき

柳井氏

豊隆

川うきうきひみ色のうきうき
あぬるや扇乃手代とくちあま
うきうきとだねくわむき

徳山氏

一重

吉田木町世屋氏

寛正

別藤代賓

源風を行のそと紀、あづまりよ

阿波氏

あづまし、あづまを聞うつ紀、れ

但秀

きくの乃肩の物や、原す物

副田氏

だもり絶や盛夏ふみにね雪乃行

光政

くらきり乃絶や、やまとく牧

高麗氏

おうじゆ、絶もくまうちよ成る扇

正世

御師とうののとあく

新家氏

ちくまくとくやまく洞乃あらす有

重政

りやねあづまかく、物やいづまく見

忠孝

招原乃玉とくべー、モ絶固扇

似舟

夏月 付縫衣

藤重氏
笠原氏

萬葉相乃くとくや月のあづまと

宗章

秀知

年裏叙り極くことわら、夏乃月

似舟

沙門
似道

ものとてやまうとくもいあづ月

凡
付荔枝

むやどもや水乃ひまをくずすれどり

速水林女

うづくとばくらうきみや勢りあり

下川氏定信

くつこやま葉とく人の後めり

副田氏光改

神素丸とくづとくみて

むちあくとくやるかの雲経乃アシニ水

平松

津とあるをむきへたまの風生家

守信

自ととりふきよづくら波やも風乃風

市川氏友重

鶴をとて生るやをそぞり乃風すひ

鷺幸頼

アトマハ毛葉子とやまよがくじむ

似道

夕顔

種うふ乃棚やま葉のうかり

三河国高宗利

昼夜顔

満月の金利うむかわの爲乃正

高康氏正世

祇園舎

むすめのちのち力なれやほどのうん

宗良

大佛神室氏

貞親

よのうるやあわら神乃けのまこと
さくあらゆのりまくやうとものゑ
尼とくらやうまくにからむれ舟くふね

宗英
似舡

鶴飼

鶴の魚とけくをぬる乃つむらは

一入

鷺

川づりとくとくとくとく

双鳥石川乃あ穂代サヒタク

清水大
重親

蓮

後乃焉すきのとせき乃けりく

宗英
大持住水院
正勝

うれも家もあそもあそのきくふ
池あらつねとびとめりとく

高麗氏
正世

うれやはれのとよ死のぬとく

佑伯氏
盛長

うるわしき事の如きは、人間の心の如きを表すものであつて、

宗英似船

泉

何列高柳集下氏
正俊

あくまく身のまわり
あらわしあるつまうる
あらわしあるつまうる
あらわしあるつまうる

卷之三

易筋氣付納涼

付納涼

名越不八
浦頬

副里氏宗英

卷之二

重慶

東水氏
林安
華見

卷一

かく風をタゞや風と絶
風とゆりて謝氣匂氣
カツヤまの乃風のや
えび川もやはあゆあきら
やもあくやあゆとくもどスと月
あくわくやひそ乃う鶴もよす風
ふくすて

岩磧氏
道嘉

御移

別表代名倉氏

さゆを契長川へましやタスム一入

六月三日祐ヨリタニトス

雷々々々アリトモヒラミシ紀川

似船

難夏

鶴也ケ乃ちりやうおのあはるど
奈緒のそーもそりのめねきう耶

中村氏

吉連

阿波氏

但秀

さくふとれとづきりきぬを

罪村氏

重峯

ゆとどりしらみの自立クシタモトウ

武次

中村氏定妻

正女

もくわくとくとくとくわくわくわくわくわく

重峯

小原氏

寧峯

昌好

蒲原

似船

不動かくくりゆを總のわざれまう

別金源佐氏

一枯

きとのあくろらのこそも一枯

名越氏

滿頬

<42-4037>

